

DVD-ROMドライブ

取扱説明書

はじめに

このたびはDVD-ROMドライブをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書は、DVD-ROMドライブの使い方について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。なお、お読みになったあとは、すぐに取り出して見られる場所に保管しておいてください。

また、お使いのコンピュータに添付されている『ユーザーズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」もあわせてお読みください。

表記について

本書の中で使用している記号の意味は、次のとおりです。

安全に関する記号



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限

制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載してあります。



参考

参考事項です。
覚えておくことと便利なことを記載してあります。



説明文が次ページに続くことを示します。



参照ページを示します。

1 2

操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

目次

1	添付品の確認	2
2	DVD-ROMドライブの特長	3
	利用可能なメディア	3
	適応フォーマット	3
3	各部の名称と働き	4
	前面パネル	4
	背面パネル	5
4	取り扱い上の注意	6
	使用時の取り扱い	6
	メディアの取り扱い	7
5	DVD-ROMドライブの装着	8
	ジャンプスイッチの設定	8
	装着の手順	9
6	DVD-ROMドライブの使い方	11
	メディアのセットと取り出し	11
	DVD VIDEOを再生する	12
7	困ったときに	13

添付品の確認

本機の添付品は、次のとおりです。添付品がすべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がありましたら、お買い求めいただきました販売店、サービスセンターまたは修理センターまでご連絡ください。

DVD-ROMドライブ本体

DVD-ROMドライブ取扱説明書(本書)

Win DVDパッケージ

CD-ROMや登録カードなどが入っています。



コンピュータと本機を同時に購入された場合、本機は、あらかじめコンピュータに装着されています。

コンピュータと本機を同時に購入された場合、「Win DVD」は、あらかじめインストールされています。

DVD-ROMドライブの特長

本機は、CD-ROMドライブ機能を備えているほかに、DVD VIDEOなどを再生することができるDVD-ROMドライブ機能も備えています。本機の主な特長は、次のとおりです。

最大48倍速でCD-ROMメディアの読み出しが可能です。

最大16倍速でDVD-ROMメディアの読み出しが可能です。

縦置きが可能です。

利用可能なメディア

本機で再生が可能なメディアは次のとおりです。

CD-ROM、CD-R、CD-RWメディア

データ、音楽、画像などが登録されているメディアです。
なお、本機ではこれらのメディアに書き込みをすることはできません。

DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWメディア

データ、音楽、画像などが登録されているメディアです。CD-ROMに比べて大容量のデータが登録されています。
なお、本機ではこれらのメディアに書き込みをすることはできません。

適応フォーマット

本機で再生が可能なフォーマットは、次のとおりです。

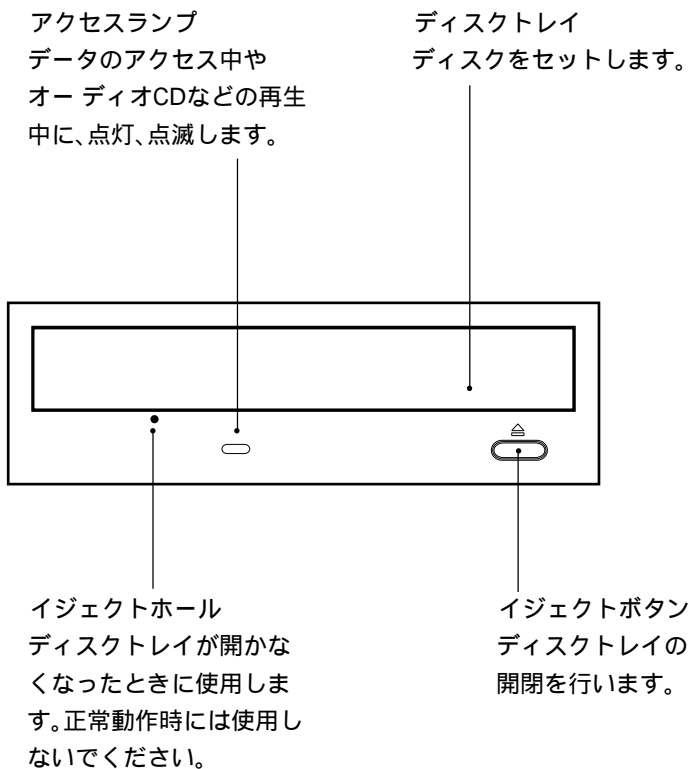
CD-DA、CD-TEXT、CD-ROM(Mode1)、Video-CD、
CD-ROM XA(Mode2 Form1・Form2)、Photo-CD、CD-I、
Mixed Mode CD-ROM(CD-ROM+CD-DA)、CD-EXTRA

3

各部の名称と働き

本機の各部の名称と働きは、次のとおりです。

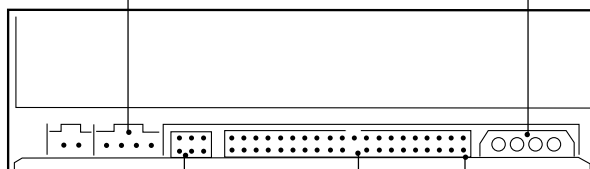
前面パネル



背面パネル

CDオーディオコネクタ
CDオーディオケーブル
を接続します。


電源コネクタ
コンピュータ内部の周辺機器
用電源ケーブルを接続しま
す。



1 番ピン側

IDE インタフェースコネクタ
IDE インタフェースケーブル
を接続します。

ジャンプスイッチ
本機の優先順位(マスタやスレイ
ブなど)を設定します。

 p.8「ジャンプスイッチの設定」

取り扱い上の注意

本機をお使いになる前に、お使いのコンピュータに添付されている『ユーザーズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」を本章とあわせて必ずお読みになり、正しく取り扱ってください。



ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意してください。けがの原因になります。
ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。
本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。

使用時の取り扱い

ディスクトレイを開いたまま放置しないでください。故障の原因になります。

メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。

開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。

本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になる場合があります。

本機が結露した状態で使用しないでください。寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露(水滴が付着する状態)し、誤動作や故障の原因になります。メディアを取り出して約1時間ほど放置した後、使用してください。

揮発性の殺虫剤などをかけないでください。ケースの変形や塗装がはげる原因になります。

メディアの再生中に振動や衝撃を与えないでください。

メディアの取り扱い

直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。

温度差の激しい場所に置かないでください。結露する場合があります。

上に物を載せないでください。

汚したり、落としたりしてキズを付けないでください。

クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。

ボールペンなどの先の硬いもので文字を書いたり、シールや紙を貼らないでください。

アクセスランプ点灯・点滅中は、メディアを取り出したり、コンピュータの電源を切ったり、リセットしないでください。

使用後は、コンピュータにセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。

ゴミやホコリの多いところでは、使用や保管しないでください。

信号面(文字などが印刷されていない面)に触れないでください。

レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。


メディアは、レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

DVD-ROMドライブの装着

本機をコンピュータに装着する方法について説明します。コンピュータと本機を同時に購入された場合は、本機はあらかじめコンピュータに装着されています。本章は、本機をあとから装着する場合や、取り外したあとに再度装着する場合などに参照してください。お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』-「システムの拡張」もあわせてご覧ください。


ジャンプスイッチの設定

本機は、コンピュータに標準で装備されているIDEインタフェースに接続します。IDE機器(IDE HDD、IDE CD-ROMドライブやATAPI MOなど)を複数使用する場合は、すべてのIDE機器にマスタやスレイブ、ケーブルセレクトと呼ばれる優先順位の設定をする必要があります。

 『ユーザーズマニュアル』-「IDE装置の設定」

本機の優先順位の設定は、本機背面のジャンプスイッチで行います。あらかじめお使いのコンピュータに接続されているすべてのIDE機器の数と種類を確認してください。ジャンプスイッチの設定方法は、次のとおりです。

1 本機を含め、接続されているすべてのIDE機器に対して、優先順位を決定します。


 『ユーザーズマニュアル』-「IDE装置の設定」

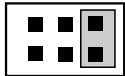
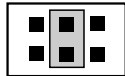
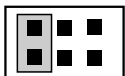
5.25型ドライブを2台接続する場合は、2台ともセカンダリコネクタに接続します。その場合、セカンダリコネクタの優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイブ
CD-ROMドライブ	DVD-ROMドライブ
DVD-ROMドライブ	CD-R/RWドライブ

2 手順1で決定した本機の優先順位を、ジャンプスイッチで設定します。

本機のマスタ、スレイブ、ケーブルセレクトのジャンプスイッチの位置は、次のとおりです。

 p.5「背面パネル」

ドライブ設定	ジャンプスイッチの位置
マスタ	
スレイブ	
ケーブルセレクト	

装着の手順



コンピュータの電源ケーブルを電源コンセントに接続した状態で、本機を装着しないでください。感電や火傷の危険があります。

ドライブベイへの装着

本機は、コンピュータの5.25型ドライブベイに装着します。装着する際は、お使いのコンピュータの『ユーザズマニュアル』-「システムの拡張」をご覧ください。

ケーブル類の接続

コンピュータに装着したあとは、ケーブルを接続します。各コネクタの位置は、p.5「背面パネル」をご覧ください。コネクタにはそれぞれ誤挿入防止のための切り欠きがあります。切り欠きとケーブルの突起を合わせて接続してください。お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』-「ドライブ (IDE 装置の接続例)」もあわせて参照してください。

- 1 本機背面のIDEインタフェースコネクタに、IDEインタフェースケーブルを接続します。
- 2 スピーカから音を出力するために、CDオーディオケーブルを接続します。

サウンドボードをお使いの場合

本機のCDオーディオコネクタと、サウンドボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

メインボード上にあるサウンド機能をお使いの場合

本機のCDオーディオコネクタと、メインボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

メインボード上にサウンド機能が搭載されていないモデルもあります。
- 3 電源コネクタに、コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。

6

DVD-ROMドライブの使い方

本機を使用する際は、次の注意事項を守り正しくお使いください。



スピーカなどを使用してオーディオ CD や DVD VIDEO を再生する場合には、スピーカなどのボリューム調節を最小にしてから接続してください。ボリューム調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となる恐れがあります。

メディアのセットと取り出し

メディアのセット方法と取り出し方法および強制的な取り出し方法については、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』-「CD-ROMドライブを使う」をご覧ください。ドライブの形状は異なりますが、基本的な操作方法は同じです。その際には、「CD-ROMドライブ」を「DVD-ROMドライブ」と読み替えてお使いください。



コンピュータによっては本機を縦置きで使用できますが、縦置き時に8cmメディアを使用することはできません。

楕円などの通常と異なる形状のメディアを使用することはできません。

DVD VIDEOを再生する

コンピュータと本機を同時に購入された場合、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェア「Win DVD」があらかじめインストールされています。詳しい使用方法については、『Win DVDユーザーズマニュアル』を参照ください。

本機をあとから購入された場合や、Windowsの再インストールを行った場合には、「Win DVD」のインストールが必要です。インストール方法については、『Win DVDユーザーズマニュアル』を参照ください。

再生時の制限

「Win DVD」でDVD VIDEOを再生する場合、次のように設定しているとDVD VIDEOの再生ができないことがあります。

解像度が1024×768ドットで、リフレッシュレートが「最適」または「85Hz」の場合

解像度が1280×1024ドット以上に設定されている場合

DVD VIDEOが再生できない場合は、解像度などを確認して設定を変更してください。1024×768ドットで表示する場合は、リフレッシュレートを「60Hz」～「75Hz」に設定してください。

困ったときに

本機の調子がおかしいと感じたときは、下記の項目を確認してみてください。また、添付ソフトウェアのマニュアルもあわせて参照してください。確認後も状況が変わらない場合は、お買い求めいただきました販売店、サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

現象 コンピュータが起動しなくなった。本機にアクセスするとコンピュータが停止(ハングアップ)する。

対処 コンピュータの使用環境について、お使いのコンピュータに添付されている『ユーザズマニュアル』-「安全にお使いいただくために」-「製品保護上の注意」および本書「取り扱い上の注意」の項目を確認してください。

本機に、IDEインタフェースケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか、また、ケーブルにキズや損傷などがないかを確認してください。

p.9「ジャンプスイッチの設定」を参照して、本機および他のIDE機器の優先順位(マスタやスレイブなど)の設定を確認してください。

現象 本機を認識しない。

対処 本機に、IDEインタフェースケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか、また、ケーブルにキズや損傷などがないかを確認してください。

p.9「ジャンプスイッチの設定」を参照して、本機および他のIDE機器の優先順位(マスタやスレイブなど)の設定を確認してください。

現象 メディアのデータを読み込めない。

対処 メディアが正しくセットされているか確認してください。

メディアの表面に傷などがないか確認してください。

メディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中はデータの読み込み準備のため、アクセスできません。この場合は、アクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてみてください。

本機との相性により、書き込み済みのCD-RメディアまたはCD-RWメディアを読み込めない場合があります。

DVD VIDEOを再生する場合は、再生ソフトウェアが必要です。本機には再生ソフトウェア「Win DVD」が添付されています。本機とコンピュータを同時に購入された場合は、あらかじめ「Win DVD」がインストールされています。

現象 ディスクトレイが開かない。

対処 コンピュータの電源が入っているか確認してください。

強制的にディスクトレイを開くことができます。詳しくは、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』-「CD-ROMドライブを使う」-「強制的なCD-ROMの取り出し」をご覧ください。

コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルが、本機に接続されているか確認してください。

現象 ディスクトレイが閉まらない。

対処 メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。

現象 DVDの再生ができない。

対処 解像度とリフレッシュレートが再生可能な設定か確認してください。

 p.12「DVD VIDEOを再生する」

現象 オーディオCDやDVD再生時に、スピーカから音声が出力されない。

対処 アンプ、またはアンプ内蔵スピーカのスイッチが入っているか、スピーカのボリューム調節が最適か確認してください。

アンプ内蔵スピーカが、コンピュータの背面側にあるライン出力コネクタに接続されているか確認してください。サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクタに接続されているか確認してください。

『ユーザズマニュアル』-「コンピュータ内部のケーブル接続」を参照して、CDオーディオケーブルがメインボード上に正しく接続されているか確認してください。CDオーディオケーブルは、本機のCDオーディオコネクタに接続します。また、ケーブルに傷や損傷などがないか確認してください。

MEMO

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Photo-CDは米国イーストマン・コダック社の登録商標です。

その他の製品名は各社の登録商標または商標です。

© エプソンダイレクト株式会社 2002

© エプソン販売株式会社 2002

